



関連部署にご回覧ください

LPGC Report

エルピーガス振興センターレポート

第37号 September 2008

☆ トピックス

- ・平成20年度第一回通常理事会・評議員会の開催報告…………… 1
- ・平成21年度予算(概算要求)の概要…………… 2

☆ プロジェクトニュース

- ・国家備蓄石油ガス放出方法検討の紹介…………… 3
- ・19年度供給多様化調査の近況報告…………… 4
- ・流通合理化推進調査事業・委員会の紹介…………… 5
- ・パービン&ガーツ アジアLPGセミナーの概況報告…………… 6

☆ 各部・室からのお知らせ

- ・広報室 : 「LPガスのある暮らし 2008 年第2号」の紹介…………… 8
- ・調査研究部 : 第21回世界LPガスフォーラム ソウル大会のご案内…………… 9

☆ 事務局からのお知らせ

- ・第18回研究成果発表会の開催案内…………… 10

- ☆ 編集後記…………… 12

トピックス

◆平成20年度第一回通常理事会・評議員会の開催報告

(財)エルピーガス振興センターの「平成20年度第一回通常理事会、評議員会」が、去る6月13日に開催されました。午後1時から評議員会が開催され、理事会への上程議案を審議し全会一致で承認しました。

引き続き、午後3時より通常理事会が開催され、理事長挨拶に続き、ご来賓の資源エネルギー庁液化石油ガス産業担当企画官の山崎勉氏よりご挨拶を頂いた後、下記4議案の審議を行い、全ての議案は全会一致で承認可決され、滞りなく終了致しました。

記

第1号議案 平成19年度事業報告及び決算報告の件

……平成19年度事業の実施結果を総括して収支決算をまとめた結果、当期末(平成20年3月31日現在)の正味財産額は649,128千円となり、前期末より30,488千円の減少となりました。

第2号議案 特定資産の一部の基本財産への繰入の件

……特定資産の一部を基本財産に繰入れ、基本財産は5億円となりました。

第3号議案 理事選任の件

……理事4名より辞任の申し出があり、新たに理事4名が選任されました。

辞任申出者

救仁郷 豊
〔前 東京ガス(株) 執行役員原料部長〕
本門 俊一
〔前 伊藤忠エネクス(株) 取締役兼常務執行役員〕
石黒 俊雄
〔前 アストモスエネルギー(株) 取締役会長〕
四十井 功
〔前 日通商事(株) 常務執行役員〕

新任候補者

安岡 省
〔東京ガス(株) 原料部長〕
守屋 憲二
〔伊藤忠エネクス(株) 執行役員〕
久内 幸二郎
〔アストモスエネルギー(株) 取締役社長〕
高橋 譲
〔日通商事(株) 常務執行役員〕

第4号議案 評議員委嘱の件

……評議員2名より辞任の申し出があり、新たに評議員2名が選任されました

辞任申出者

田中 幹生
〔(株)奥村組 取締役専務執行役員営業副本部長〕
後藤 英夫
〔(株)大林組 常務執行役員土木技術副本部長〕

新任候補者

中村 紘一
〔有限責任中間法人 DME 普及促進センター 専務理事〕
入澤 博
〔(財)エンジニアリング振興協会 常務理事〕

<以下 報告事項>

・平成20年度事業計画の進捗状況の件

◆平成21年度予算(概算要求)の概要

国の平成21年度予算の編成に向けて、各予算主管省庁にて概算要求がまとめられ、8月末に財務省に提示されました。その中で経済産業省から要求されましたLPガス関係の項目は次の通りとなっています。総額では増加していますが、昨年と同様にその大半は備蓄関係で、これを除くと減少という厳しい状況が続いています。

単位: 億円

上記の各主管課以外でも若干のLPガス関連の要求項目があると見込まれます。

区 分、項 目			21 年度 概算要求	20 年度 予 算	増 減
<石油流通課 関連>					
1. 流通合理化関係			16.7	17.4	△ 0.7
	消費者相談事業 (定額補助)	継続	2.3	2.0	0.3
	販売事業者等構造改善推進 (1/2補助)	継続	4.0	4.0	0
	LPガス車導入、オートスタンド設置補助 (1/2補助)	継続	4.0	3.1	0.9
	充てん所統廃合支援 (1/2補助)	継続	1.8	1.8	0
	都市バルク設備設置補助 (1/2補助)	継続	1.0	1.0	0
	LPガス卸売、小売価格調査	継続	0.8	0.9	△ 0.1
	販売事業者経営実態調査	継続	0.2	0.2	0
	LPガス用 FRP 容器実用化調査	継続	1.4	1.5	△ 0.1
	LPガス自動車容器検査の合理化可能性調査	新規	0.3	—	0.3
	非硫黄系着臭物質調査	終了	0.0	1.5	△ 1.5
	流通合理化調査ほか	継続	1.0	1.4	△ 0.4
2. LPガス需給構造高度化関係			4.6	6.3	△ 1.7
	ガラストップ導入補助 (1/2補助)	継続	4.4	4.4	0
	DME/LPG混合燃料利用技術調査	継続	0.2	0.5	△ 0.3
	LPガスコジェネ設置補助	終了	0.0	0.6	△ 0.6
	メンブレン型LPガス改質装置開発	終了	0.0	0.8	△ 0.8
3. 備蓄関係			238.4	210.8	27.6
	国家備蓄石油ガス管理委託費		42.9	44.5	△ 1.6
	国債整理基金、元本償還、利払い等		170.9	141.7	29.2
	その他 国家備蓄推進事業関係		15.4	16.0	△ 0.6
	備蓄石油ガス利子補給		9.2	8.6	0.6
<原子力・安全保安院 関連>					
4. 石油ガス供給事業安全管理技術開発等			4.6	6.1	△ 1.5
	バルク貯槽ガス回収システム開発	終了	0.0	0.8	△ 0.8
	バルク供給システム保安対策調査	終了	0.0	0.9	△ 0.9
	LPガス燃焼器自動識別システム開発	継続	0.8	0.8	0
	中央指導・地域普及事業	継続	2.0	2.2	△ 0.2
	安全管理実態調査	継続	0.6	0.5	0.1
	保安啓発事業	継続	0.7	1.0	△ 0.3
	バルク貯槽 20 年検査体制整備調査	新規	0.5	—	0.5
<省エネルギー対策課 関連>					
5. 高効率給湯器導入支援			8.9	9.9	△ 1.0
	潜熱回収型給湯器 (定額補助)	継続	7.5	6.8	0.7
	ガスエンジン給湯器 (定額補助)	継続	1.4	3.1	△ 1.7
平成20年度 LPガス産業関係概算要求 (1～5計)			273.2	250.5	22.7

プロジェクトニュース

◆国家備蓄石油ガス放出方法検討の紹介

当(財)エルピーガス振興センターは、独立行政法人 石油天然ガス・金属鉱物資源機構 (以下JOGMECという) の公募に応募し、平成20年6月2日付けで「国家備蓄石油ガスの放出等に関する調査検討」業務を受託しました。

本業務は、国家石油ガス備蓄基地における備蓄石油ガスの放出手続きや訓練のあり方等についての検討を行うもので、当センターでは、本業務を公正かつ適確に実施するため、LPガスに関する豊富な知識と実務経験、並びに学識を有する方々による「調査検討委員会」を設置して平成20年7月11日に第1回委員会を開催し、下記の本業務の実施方針等を中心に検討、確認を行いました。

記

1. 備蓄石油ガスの放出シミュレーション等の検討
2. 国家備蓄石油ガスの放出訓練のあり方等の検討
3. その他、放出に関連する様々な要因等の調査

国家備蓄石油ガスの放出等に関する調査検討委員会 名簿

	氏 名	勤 務 先 名	所 属
委員長	小川 芳樹	東洋大学	経済学部総合政策学科
委員	矢木 勉	アストモスエネルギー株式会社	供給本部需給部
委員	丹波 芳巳	コスモ石油ガス株式会社	供給部
委員	程田 武男	株式会社ジャパンエナジー	LPガス部
委員	上平 修	新日本石油株式会社	海外調達部LPガス調達グループ
委員	太田 芳伸	昭和シェル石油株式会社	ホームソリューション部
委員	荒畑 誠	三井丸紅液化ガス株式会社	
委員	速水 浩基	岩谷産業株式会社	総合エネルギー本部調達部
委員	木村 博	社団法人全国エルピーガス卸売協会	業務部
委員	永井 正博	財団法人日本エネルギー経済研究所	石油情報センター
委員	濱野 勇夫	社団法人日本海難防止協会	海洋汚染防止研究部
委員	今野 勉	財団法人石油産業活性化センター	統計解析部
委員	西谷 正彦	志布志石油備蓄株式会社	業務部
委員	浅見 文雄	社団法人埼玉県LPガス協会	

今後は、各テーマで作業部会を設け、来年3月までに最終のまとめを行う予定としています。

(調査研究部 高村主任研究員)

◆石油ガス開発等供給多様化調査の近況報告

わが国のLPガス供給は約3／4を輸入に依存し、特に中東地域への依存率が非常に高くなっています。こうした状況の中、LPガスの安定供給基盤及び価格の安定性を確保するため、毎年、世界各地域の需給動向、開発動向、政策動向等を調査し、最新情報の収集に努めています。

<平成19年度調査 北米調査>

平成19年度は、

- i) 中東地域を中心とする産ガス国の天然ガスプロジェクトの進捗に伴う、LPガスの供給能力と輸出能力の中期的な拡大の動向と、
 - ii) そうした産ガス国の動きに対応する主要消費国のLPガス需要の変化を中心とする、国際需給動向を把握・検証し、その結果、
 - iii) 産ガス国の供給増大の受け入れ先として、世界最大のLPガス消費国であり、LPガスの主要輸出地域である中東及び北・西アフリカからのアクセスが容易な米国の石油化学産業が、価格動向に非常に敏感で、地球規模での供給増加分の吸収先の有力候補である、との判断から、
- 北米メキシコ湾岸の石油化学産業におけるLPガス需要に焦点をあてて北米現地調査を行いました。

価格動向に非常に敏感な米国石油化学産業のLPガス需要は、我が国に於ける家庭・業務用といったベース需要と性格が異なりますが、調査結果では、価格動向次第で約700万トン強／年の追加消費が可能であり、欧州の石油化学産業と合わせると約1,000万トン／年の追加消費の余地が見込めます。但し、予想される産ガス国での供給増大見通し共々、国際LPガスマーケットに与える影響については、時間的にも量的にもまだまだ不確定要因も多く、今後の状況の変化に注意を払っていく必要性が非常に高いと思われます。

又、現下のエネルギー情勢にあっては、状況の変化が急速且つ大きな規模で起こっており、調査実施以降も、中東での開発の遅れ等による供給ピークのズレ等が予想されています。

平成19年度に実施した調査結果に、さらに最近の状況変化を加味した研究成果発表を、来る9月17日(水)に千代田区立内幸町ホールにて行いますので、ぜひご来場下さい。

米国石油化学産業のロケーション



(調査研究部 伊藤総括主任研究員)

◆石油ガス流通合理化推進調査の紹介

平成19年度LPガス販売事業者構造改善調査として下記の22件が採択実施され、その結果の概要版を作成して、去る平成20年8月7日に航空会館で第1回委員会を開催し、概要内容をご紹介致しました。

	採択企業・団体等	調 査 件 名
1	エア・ウォーター・エネルギー(株)	消費生活用製品情報の取得方法及び販売事業者保有情報を活用した、安全・サービス情報提供に関する調査
2	エネクスグリーンパワーエナジー(株)、島村精機(株)	ハイブリッドカーのLPガス化実現可能性の実証と普及可能性調査
3	LPガス自動車普及促進協議会	京都議定書目標達成計画におけるクリーンエネルギー自動車(LPガス車)26万台増加方法の調査
4	(財)エルピーガス振興センター	共同充てん・共同配送実施事業者の合理化実態調査と共通フォーマットの有用性に関する調査
5	(社)大分県エルピーガス協会	LPガス業界における環境方針とアクションプラン策定のための調査
6	(社)熊本県エルピーガス協会	消費者ニーズの多様化に対応可能な透明性の高いLPガス料金体系構築に向けた具体策提示のための調査
7	札幌第一興産(株)	保安台帳の電子化による保安業務の高度化とメーターの交換業務における履歴管理の効率的手法について
8	(株)ザ・トーカイ	一般家庭におけるエネルギー別利用状況及び各エネルギーへの意識調査
9	(社)全国エルピーガス卸売協会	オール電化住宅のCO ₂ 排出実態調査及び、LPガス住宅の環境優位性の立証
10	(社)全国エルピーガス卸売協会	「国内LPガス市場における価格競争力と安定供給の両立」に関する調査
11	全国地域婦人団体連絡協議会	LPガスの使用と取引ならびに災害時対応に関する消費者意識調査
12	中国工業(株)	LPガスコンポジット容器(室内使用)の日本での実用化調査
13	東洋計器(株)	ユビキタス時代におけるLPガス産業の事業モデルとその評価分析について
14	日本LPガス協会	用途別業務用エネルギー意向調査
15	日本LPガス団体協議会	小型LPガス用FRP容器の実用化に向けた安全性調査
16	日本ガス合成(株)	LPガス合成事業化による構造改善可能性調査
17	(社)日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会	LPガス販売事業者の消費者志向度調査及び調査結果に基づく消費者志向経営のための提案
18	有限責任中間法人日本増改築産業協会	リフォーム業界とLP業界との関係強化に向けた調査研究
19	日本ソファック(株)	LPガス配送ならびに保安情報システムの標準化に関する調査
20	(株)日本みらい計画	LPGを独立分類項目とする産業連関表の調査研究及びそれに必要な姫路市LPガス販売事業者経営実態調査
21	鳴門ガス株式会社	地図情報システム(GIS)を活用した業務効率化および保安確保実現の可能性調査
22	(社)北海道エルピーガス協会	高効率ガス給湯器の普及促進による事業者の経営基盤強化および省エネルギー貢献、料金低減化のための調査

本年度は、この後3回委員会を開催する予定になっております。2回目以降の委員会では、採択事業者によるプレゼンテーションを2事例ずつご紹介いたします。

第2回の委員会は、平成20年9月26日(金)午後2時より虎ノ門パストラル 新館6F「ロゼ」にて開催いたします。

プレゼンテーション内容は、

- ①「一般家庭におけるエネルギー別利用状況及び各エネルギーへの意識調査」
(実施者：(株)ザ・トーカイ)
- ②「オール電化住宅のCO₂排出実態及び、LPガス住宅の環境優位性の立証調査」
(実施者：(社)全国エルピーガス卸売協会)

この委員会は公開としておりますので、傍聴ご希望の方はお申込みください。開催案内は当センターのホームページ(<http://www.lpgc.or.jp/corporate/information/gourikasuishinchousa.html>)でもご覧いただけます。

(調査研究部 斉藤総括主任研究員)

◆パービン & ガーツ アジアLPGセミナーの概況報告

パービン・アンド・ガーツ主催の「第12回アジアLPGセミナー」が、平成20年6月24日(火)～25日(水)にグランド・ハイヤット・シンガポールにて開催されました。参加者は約160名でしたが、会場近辺には、シンガポール企業、駐在員を始めとして参加者に倍するアジア・中東・欧米等の業界関係者が集まって商談・関係強化のミーティングを展開するなど、このセミナーが重要な情報交換の機会を提供しているとの感を強くうけました。

17名の発表者によりプレゼンテーションが行われ、内容も世界のLPG市場、産ガス国の現状、下流の国別事例紹介、海運の状況、貯蔵等々、多岐にわたり、LPG全体の趨勢を網羅するセミナーでありました。

【プレゼンテーション 1】

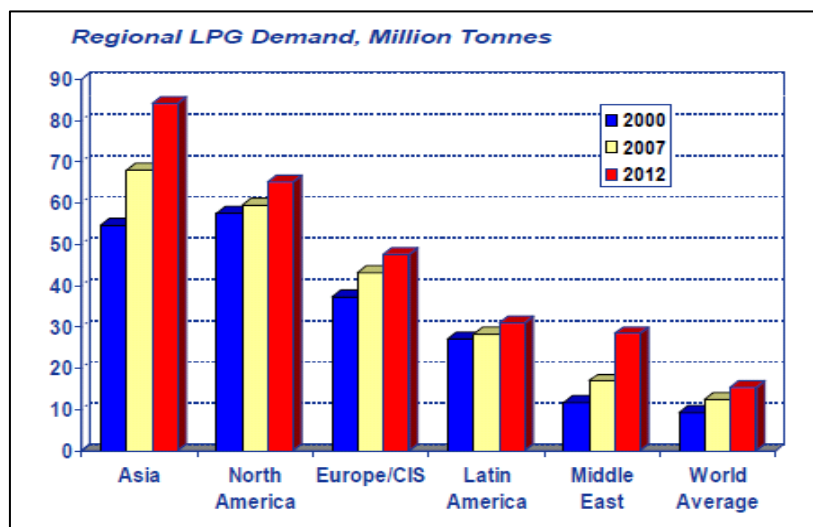
パービン&ガーツ社: Ken Otto 氏

基調演説「世界のLPG市場概観」

主要内容: 世界のLPG需給動向のレビュー及び見通し

- (1) LPGの供給はこの4～5年、特に急拡大する。
- (2) 2007年に供給拡大が抑制されたが、この2年で拡大基調に戻る。北米と欧州を除く地域でのエチレンプラントの拡大が顕著である。
- (3) エネルギー価格は高留まりの後、2～3年で緩やかに下降する。問題は高値の継続期間と下落の程度である。
- (4) LPG高価格は家庭業務用分野での需要拡大を鈍化させ、発展途上国の補助金等の支えがないマーケットでは鈍化が著しいものとなる。
- (5) (4) は今後の需給バランスに影響を与え、石化フィードストック向の供給を後押しする。
- (6) 中東では石化プラントの急拡大により石化向けLPG需要が急増する。
- (7) 世界のLPG貿易は今後2～3年著しく拡大するが、部門により拡大時期にズレが生じる。
- (8) LPG価格はナフサほどには急上昇せず、石化用原料としてのLPG分解が進行する。
- (9) 世界のLPG供給の増加は基礎需要の伸びに先行するため、価格に敏感な石化フィードストック向の供給可能量が増大する。

世界の地域別LPG需要(百万トン)

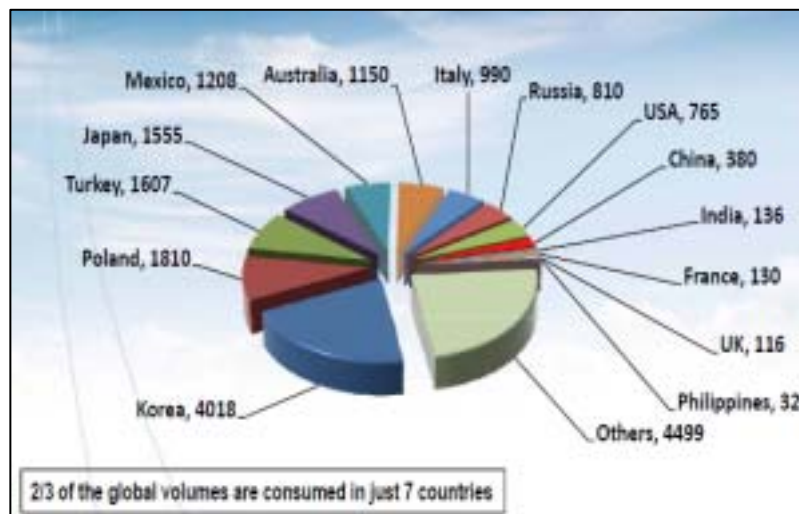


【プレゼンテーション 14】「世界の自動車用ガス市場の成長」

世界LPG協会 (WLPGA) : James Rockall 氏

主な内容: トルコ、オーストラリア、ドイツにおけるLPG車の導入拡大状況と自動車メーカー各社の新規開発LPG車 (スバル、Holden、Ford、Hyundai、トヨタ、スズキ、Tata) について

- (1) 自動車用LPガス (オートガス) 需要は他燃料との相対価格によるところが大きく、燃焼・排ガスのクリーン性・低炭素がセールスポイント。
- (2) 燃料販売会社とLPG協会は政府に対し財政便宜・補助のロビー活動を成功裏に展開している。
- (3) オートガス以外の代替燃料には弱点がある。
- (4) 自動車メーカーは流れにそって多くのモデルを投入し始め、オートガス市場に拍車をかけている。
- (5) クリーン輸送燃料市場でシェア拡大の機会に恵まれている。
- (6) LPG産業とLPG協会はこの好機に乗ずるべきである。



国別オートガス消費量 (千トン)

その他、下記タイトルのプレゼンテーションが行われました。ご関心のある方は、当センターまでお問い合わせ下さい。

- 【プレゼンテーション 2】「カタールのLPG生産と輸出」
- 【プレゼンテーション 3】「豪州LPG市場の展望」
- 【プレゼンテーション 4】「トルコLPG市場の構造と成長」
- 【プレゼンテーション 5】「インドLPG市場の展望」
- 【プレゼンテーション 6】「精製市場の展望」
- 【プレゼンテーション 7】「世界LPG貿易の成長」
- 【プレゼンテーション 8】「中国LPG市場の展望」
- 【プレゼンテーション 9】「急拡大を続けるインドのオートガス」
- 【プレゼンテーション 10】「LPGによる灯油代替計画」
- 【プレゼンテーション 11】「インドネシアLPG市場の発展」
- 【プレゼンテーション 12】「石化原料市場の成長」
- 【プレゼンテーション 13】「LPG運搬船の市場の展望」
- 【プレゼンテーション 15】「世界の石化市場の展望」
- 【プレゼンテーション 16】「LPG 岩盤洞窟貯蔵計画ービシャカパトナムの事例」
- 【プレゼンテーション 17】「P & Gによる世界LPG価格展望」



(調査研究部 岩田主任研究員)

各部・室からのお知らせ

◆広報室

「LPガスのある暮らし 2008年第2号」のご紹介(7月発行)

広報室では、LPガスをお使いの一般消費者向け啓発活動の一環として各種パンフレットを発行していますが、今回は7月初めに発刊致しました「LPガスのある暮らし 2008年2号」をご紹介します。

「考えよう!地球環境のこと」

7月上旬に開催された「北海道洞爺湖サミット」に関連したトピックスとして地球温暖化防止をテーマとして、家庭でのCO₂排出量が大幅に増えており省エネが必要であることなど具体的な省エネの方法およびその削減効果を記載しています。

また、LPガスが環境に優しいことや熱効率のよいガス機器の紹介、そして高効率ガス給湯器の導入によるCO₂の削減効果を杉の木によるCO₂吸収量にて表すなどの工夫をして掲載しております。

「LPガス料金(プロパンガス)はどうなっているの?」

- LPガスの料金の仕組み
- LPガス料金の内訳、
- 販売店と契約する場合の注意点
- LPガスの料金は認可料金ではなく、販売店がそれぞれの料金設定によって設定する方式であること 等を図・グラフ・イラストにより、わかりやすく紹介しています。



「LPガス快速通信 フライパン パエリア」

楽しんでお読みいただける記事として、料理研究家の村上祥子さんによるフライパンを使った本格的かつ簡単なパエリアのレシピを紹介しています。火の立ち上がりが早く、火力が長続きし、火加減の調整もしやすいLPガスならではのおいしさです。

「保安・安全関係のお知らせ」

法律で定められた容量以上のLPガスボンベにはガスメーターを取り付ける義務があることと、使用状況により販売店の点検を受けてもらう必要があることをイラストにより掲載しています。

「その他」

平成20年度「LPガス講習会」のご案内

現在実施中のLPガス講習会実施要領について紹介しています。

講習内容設定や実施日時、人数を問わず、経費も無料であることを説明し、開催の喚起をしています。

LPガス小売価格(全国)、エルピーガスお客様相談窓口のご案内

などを掲載しています。お問い合わせは当センター広報室までどうぞ。

◆調査研究部

第21回 世界LPガスフォーラム ソウル大会のご案内

毎年、世界LPガス協会(World LP Gas Association : WLPGA)の主催で開催され、今年で21回目を迎える世界LPガスフォーラム(World LP Gas Forum)が、9月24日(水)、25日(木)の両日、韓国ソウルの Coex Convention & Exhibition Center で開かれます。

今回のフォーラムは、『LP Gas: Clean Energy for a Low Carbon World』をメインテーマに、クリーン・エネルギーとしてのLPガスの地球環境への貢献を中心に、気候変動、エネルギー高価格時代、技術革新、アジアにおけるLPガス利用の拡大等々といった多角的なテーマのセッションが持たれ、日本のLPガス業界からも、セッション議長や講演者をはじめ多くの人が参加する見込みです。



さらに、フォーラムに引き続き、26日(金)には2年に1回の世界技術会議(Global Technology Conference:GTC)のが開催されます。この会議では世界中から応募されたLPG関連の技術論文の内、審査をパスした論文の執筆者が会場で発表を行います。日本からは当センターが GTC の運営委員会(Steering Committee)のメンバーとして論文審査に当たり、次の8論文が審査にパスし、当日発表を行う予定となっています。

発表テーマ (発表団体等)

①The Effects of Quality of Autogas on the Advanced Type of LPG Vehicles	日本LPガス協会
②Quality Investigation for the Fuel LP Gas	日本LPガス協会
③The World's First Commercialization of LPG-fueled PEM Fuel Cell System for Residential Use	新日本石油(株)
④A Sulfur-free Odorant	高圧ガス保安協会
⑤ Research for Promoting the Practical Application of DME-LPG Mixture Fuel for Household Applications	(財)エルピーガス振興センター
⑥GHP and Micro Co-generation	GHPコンソーシアム
⑦Direct Synthesis of Propane/Butane from Synthesis Gas	日本ガス合成(株)
⑧ Development of treatment system on cattle waste by use of microbubble And high-temperature biodegradation with LPG and thermophilic bacteria	京葉プラントエンジニアリング(株)

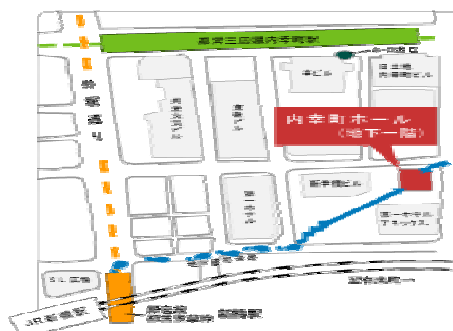
フォーラムにご関心のある方は、フォーラムの公式ホームページ (<http://www.wlpgasforum2008.com>) をご覧下さい。

事務局からのお知らせ

◆第18回研究成果発表会の開催案内

当センターでは毎年恒例の「第18回 研究成果発表会」を下記の日程にて開催致します。本年は平成19年度に当センターが実施しました技術開発ならびに調査研究事業の成果発表とともに、(株)住環境計画研究所 代表取締役所長 中上英俊 氏による特別講演を予定しております。ご多忙中の折りとは存じますが、何卒ご参加下さいようお願い申し上げます。

1. 日 時 : 平成20年9月17日(水) 13:00~16:35
2. 会 場 : 『千代田区立 内幸町ホール』
東京都千代田区内幸町 1-5-1
TEL 03-3500-5578



3. プログラム :

時 間	発表内容及び発表者
12:00~	受付
13:00~13:15	開会挨拶、来賓挨拶
13:15~13:50	石油ガス開発等供給多様化調査 (世界のLPG需給バランスと北米の石化原料用需要) 調査研究部 総括主任研究員 伊藤 章
13:50~14:20	石油ガス流通実態調査 (災害時におけるLPガスの流通実態) 調査研究部 総括主任研究員 斉藤 典明
14:20~15:30	特別講演 『省エネルギー社会における家庭用エネルギーの将来』 講師 (株)住環境計画研究所 代表取締役所長 中上英俊 氏
15:30~15:45	休憩 (コーヒーブレイク)
15:45~16:30	DME燃料実用化普及促進研究 (DMEはどこまでLPGとの混合燃焼が可能なのか) 総括 技術開発部 部長 村本 直俊 家庭業務用消費機器、LPGガスエンジンによる燃焼実験について 技術開発部 研究員 竹ノ下 慎太郎 小型LPガスボイラーによる燃焼試験、実験棟での実証試験について 技術開発部 総括主任研究員 齊田 順二
16:30	閉会

4. お申込方法 :

『申込書』をFax又はE-mail (kenkyuseika@lpgc.or.jp) でお申込みください。

ホームページ (<http://www.lpgc.or.jp/corporate/information.html>) に掲載しておりますので、そちらからダウンロードしてください。

5. 参加費等 : 5,000円(1名様 資料代及び消費税込)

◆第18回研究成果発表会の見どころ、聞きどころ

[第1部] 平成19年度「石油ガス供給多様化調査」より

- ・当センターでは、国の委託を受けて平成17年度に中東主要LPG生産国の調査を行い、今後2010年までにLPガスの供給余力が増大しサプライヤーの変動が生じる見通しであることや、中国の今後のLPガス需要増加が必ずしも輸入増大に直結しないことなどを報告して、大きな関心を頂きました。
- ・引き続き、平成18年度では中東以外の主要地域において、今後どのようなLPガス需給変化が見込まれるのかを主眼に置き、日本国内のLPガス需給の後背となる、世界の主要なLPガス需要地域に深く結びつく ①ラテンアメリカと南米地域(→北米市場) ②アフリカ・北アフリカ地域(→地中海・西欧市場)の2地域でのLPガス生産・供給力の変動と、さらに ③アジア最大のLPガス需要国である中国のLPガス需給動静 について調査を実施し、昨年その成果を報告いたしました。
- ・平成19年度は、こうした中東とその他地域におけるLPG供給力の拡大と、これが及ぼす国際需給動向への影響等を検証するとともに、増大する供給の主要な吸収者として今後の国際的なLPガス需給動向の鍵となる米国の石油化学産業におけるLPガス需要に焦点を置き、最新情報の収集、分析と現地調査を実施しましたので、その成果を今回報告いたします。

[特別講演] 『省エネルギー社会における家庭用エネルギーの将来』 中上英俊氏

- ・中上氏には、京都議定書採択の翌年、丁度10年前の平成10年11月の第8回発表会において今回とほぼ同じテーマで講演をお願いしました。
- エネルギー事業者の多くに、温暖化や環境問題への対応が、まだ切実な課題とは意識されていない時でした。そうした中で、特に家庭での省エネルギーの意識と実行の必要性を、具体的なデータと国際比較を織り交ぜての講演、というよりは警鐘といえるものでした。
- ・今回の講演では、洞爺湖サミットを経て温暖化対策への対応が各産業・企業の存立をも左右するものとなっている今日、LPガスの主要な需要領域でもある家庭でのエネルギー消費にどのような変化が生じているのか、今後10年の取り組むべき課題は何か、などをテーマに講演頂く予定です。



[第3部] DME燃料実用化普及促進研究(17～19年度の実証成果について)

- ・当センターは、これまでDME実用化に向けた研究を進め、LPガス供給インフラをDMEに転用しうる可能性が大きいことを実証してきました。
- ・さらに、既存のLPガス家庭業務用燃焼機器を、大幅な改造を加えず、安全かつ有効に利用するためには、DMEをLPガスと混合し、その最適な混合比率と限界比率、使用条件を検証することが不可欠となるため、平成17年度から19年度までの3ヶ年計画で、混合燃料を用いた燃焼試験などの検証に取り組んできました。
- ・これにより、DMEをLPガスとの混合燃料として、既存LPガス消費機器を用いて実用的に使用しうるとの結論を得ましたので、その成果を今回報告します。

編集後記

高騰していた原油価格はこのところ少し落ち着きを取り戻したかのようにも見えますが、依然として高値圏で推移しています。一方で、サブプライムローン問題や食糧問題など世界経済を取り巻く状況は非常にシビアで減速のきざしすら見せています。各国が協調して難局に取り組む体制を整える時期が来ているように思えるのですが。

こうした状況の中でも、エネルギー・環境問題は引き続き重要な課題であり続けるでしょう。洞爺湖サミット直前に「福田ビジョン」が打ち出され、将来の世代のため低炭素社会へ大きく舵を切らなければいけないとの理念のもと、「2050年までに現状から60～80%のCO2排出量削減」という長期目標が掲げられました。このビジョンは、7月29日には「低炭素社会づくり行動計画」として閣議決定され、内容が具体化されています。

LPガスはCO2排出量が少なく環境にやさしいエネルギーであることをエルピーガスガス振興センターはもとより関係団体は必死になってPRに努めています。しかし、残念なことに今回打ち出された「低炭素社会づくり行動計画」のどこを見ても、LPガスの言葉が出てこないのです。

今年2月のLPガス国際セミナーにおいて、WLPGA（世界LPガス協会）のRockall専務理事は「The Convenient Truth（好都合な真実）」と題する自らの講演の中で、LPガスがCO2排出量削減をはじめとする地球環境問題の解決にいかに関与するか力説していました。同時に、反省すべき点として、「再生可能エネルギー業界、天然ガス業界、電力業界に比べ、LPガス業界は分散化しているため認知度が低い。政策立案者のみならず、オピニオンリーダーや利害関係者への認知度を高める必要がある。」と述べていたことが印象に残っています。

まさに、わが国においてもこのことがあてはまるのではないのでしょうか。LPガス業界として、環境問題にどのような形で取組もうとしているのかを具体的かつ総合的にまとめた上で、世の中に提示していくことが必要ではないのでしょうか。その際には、自主的に取組めること、他業界と共同で取組むこと、政府の支援を必要とすることを区分し、優先順位をつけることも必要かもしれません。取組むべき分野についても、WLPGAなどとともに国際的なものもあれば、逆にローカルであるがゆえにLPガスの特性を発揮できる分野もあるでしょう。時間軸を切り口に考えても、当面のCO2排出量低減に即効性を期待して行うものもあるでしょうし、技術開発を行い長期的かつ効果の大きいものも考えられるように思います。

やるべきことはたくさんあるように思われます。昨今の環境を取り巻く状況を踏まえながら、LPガスとしての環境ビジョン、将来ビジョンの具体化を図りたいものです。

(菊岡)

**PG
CENTER**

財団法人 **エルピーガス振興センター**



〒105-0001 東京都港区虎ノ門一丁目 19 番 5 号 虎ノ門一丁目森ビル4F

TEL : 03-3507-0041 (代表)
03-3507-0046 (広報室)

FAX : 03-3507-0048

ホームページURL : <http://www.lpgc.or.jp>

Eメールアドレス : info@lpgc.or.jp



♪ 送付先変更等のご連絡は、FAX又はEメールをお願いします ♪